

令和7年度 小・中学校教育課程研究協議会に係る各部会の改善の重点

部会名

中学校 保健体育科

改善の重点

- ①保健体育科における目標及び単元や内容のまとまりを見通した指導内容の明確化と指導と評価の一体化
- ②生徒の学習状況を正確に把握し、個に応じた支援を行うための手立ての工夫

1 設定理由

中学校学習指導要領第2章第7節保健体育の第3「指導計画の作成と内容の取扱い」において、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。」と示されている。

県内の保健体育科においては、「新大分スタンダード」に基づく授業改善が進められ、「指導と評価の計画」の作成についても多くの実践と研究が行われている。一方で、計画を作成しているものの評価の意図が不明確である事例や、評価の場面や機会の妥当性が十分に考慮されていない事例が散見される。また、「指導と評価の一体化」の観点では、指導内容と評価が整合していない授業や、評価の際に「C努力を要する状況」の生徒が適切に支援されず取り残されている実態も確認される。

以上を踏まえ、保健体育科における目指す資質・能力を育成するためには、「見通しをもった計画の作成」と「生徒の学習状況の把握と手立ての工夫」が必要である。体育分野と保健分野の関連性や学年間の系統性、さらには他教科との関連を考慮した「年間計画」を作成し、そのうえで、学習内容と評価が意図的に組み合わせられた「指導と評価の計画」を作成することが重要である。

また、「指導と評価の一体化」を実現するためには、指導内容と評価の整合性を確認することはもとより、評価内容を考慮する上で生徒の学習状況を正確に把握することが不可欠である。さらに、目指す資質・能力の育成に向けて、特に「C努力を要する状況」の生徒をはじめとする学習が遅れがちな生徒への支援に留まらず、多様な生徒に対する学びの深化を促す手立ての工夫も必要である。

2 研究を進めるに当たって

(1) 実践に当たっては、以下の点に留意すること。

① 「改善の重点①」について

・「指導と評価の計画」を作成する際は、指導内容と評価規準が関連付けられているかを確認することはもとより、目指す資質・能力を踏まえ、単元の何時間目に何の学習内容や評価をするかを、バランスよく意図的に設定すること。また、「内容のまとまり」を見通した、単元における評価の設定をすること。

② 「改善の重点②」について

・生徒一人ひとりの学習状況を確実に把握するため、単元ごとのポートフォリオの作成、観察記録、評価項目に基づいた振り返りなどを活用し、多角的な視点から学びの進捗を的確に捉えること。
・1人1台端末の活用にあたっては、教師が意図的に活用場面を設定するだけでなく、生徒の主体的な意思を反映し、個別最適な学びと協働的な学びが両立し、生徒の理解や探究が深まるような活用方法を検討すること。

(2) 参考とすべき資料

- ①「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校保健体育 (国立教育政策研究所)
- ②「生きる力」を育む中学校保健教育の手引き (文部科学省)
- ③「早わかり！単元計画の作成手順」大分県教育庁義務教育課 Web サイト